

会 議 の 要 旨 （ 議 事 録 ）

会 議 の 名 称	第1回鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会		
開 催 日 時	令和8年8月21日（金） 13：30～14：45	開催場所	市役所3階 大会議室1
出 席 者 数	策定委員 9人 事務局 5人	傍聴人数	傍聴者なし
議 題	(1) 会長・副会長の選出 (2) 鳥栖市高齢者福祉計画の趣旨及び策定体制について (3) 鳥栖市における高齢者の現状と将来推計及び第10期鳥栖市高齢者福祉計画の評価を踏まえた中長期的な課題について (4) 第11期鳥栖市高齢者福祉計画の基本理念と基本目標及び成果指標について (5) 第11期鳥栖市高齢者福祉計画における個別施策について		
配 布 資 料	○令和8年度 第1回鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会 次第 ○資料1 第11期鳥栖市高齢者福祉計画（第4章まで） ○資料2-1 鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会設置要綱 ○資料2-2 鳥栖市高齢者福祉推進会議設置要綱 ○資料3 計画策定スケジュール ○資料4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査_結果概要 ○資料5 鳥栖市第10期高齢者福祉計画施策評価一覧 ○資料6 第11期高齢者福祉計画見直しポイント		
所 管 課	（課名）高齢障害福祉課 （電話番号）0942-85-3554		

第1回鳥栖市高齢者福祉計画策定委員会 議事録

出席委員：山津会長、熊谷副会長、門司委員、古市委員、佐藤委員、松隈委員、鈴木委員、
緒方委員、森岡委員〔計9名〕

欠席委員：荒木委員、久富委員

1 開会

事務局（高齢障害福祉課長）

2 あいさつ

鳥栖市副市長（挨拶後退席）

3 委嘱状の交付

4 議題

議題1）会長・副会長の選出

委員の互選により、会長：山津喜保委員、副会長：熊谷隆史委員 に決定。

議題2）鳥栖市高齢者福祉計画の趣旨及び策定体制について

●事務局

（資料説明）

○議題2について【質問・意見なし】

議題3）鳥栖市における高齢者の現状と将来推計及び第10期鳥栖市高齢者福祉計画の評価を踏まえた中長期的な課題について

●事務局

（資料説明）

○委員

この成年後見制度内容の認知度はどのように測ったのか。

●事務局

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の中に認知症・成年後見制度に関する項目があり、その結果で測っている。

○委員

若い人が入ってくれば、当然下がってくるのか。

●事務局

その通り。

○委員

（成年後見制度について）関係ない人たちは知らないでいいとなってしまうと、当然数字が低くなってくると思う。

●事務局

その通り。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、65 歳以上の方が対象だが、今回資料に掲載していない調査では若い世代にも調査をかけている。比較すると、若い世代の人たちは興味がない方が多いので、成年後見制度に対しての理解も低いと考えている。

補足として、昨年度からまちづくり推進センターで成年後見制度の講座を実施している。講座参加者は 40 代の方や、独身の方達も参加されている。これから自分が独身で過ごしていくに当たって、将来的に成年後見制度のことを理解しておかなければいけないと、興味のある方に参加いただいている。

○委員

資料 1 の 29 ページ、③施設等への入所・入居の検討状況について、入所・入居を検討していないが 64.5%とかなりの数になる。検討していない理由というのはアンケートにはないのか。

●事務局

ない。

○委員

施設の費用も安くなく、入所で 1 ヶ月当たりの負担額というのがおそらく 10 万円はくだらないと思われる。そうすると、大半の人は利用したくても利用できないということではないかとも考えられる。アンケートでは調査されていないため、項目として加えていただくと、何で入居を考えないのかっていうのが明らかになると思う。

○委員

住民のアンケートによって、この地域の課題が全て明らかになるかというのはわからない。医療、介護、福祉といった関係の専門職の情報を取り入れることが大切だと思う。また、区長さんや民生委員さんからの情報というのも非常に大切だと思う。(今日お集まりの区長・民生委員の方々に対して) 各地区の方々の情報は集まっているのか。

○委員

独居の方を中心にお会いすることは定期的にある。皆さん何とかやってるように感じられる。子どもさんたちの協力を得ているようにも思う。また、各地区のまちづくり推進センターのいろんな教室に通われている方はかなり特定の人で、自分の生活に少しでも変化を持たせたいという努力までは、する気になられていないように思う。

○委員

(広報について) 通いの場等に「皆さん来てください」というような形ではなくて、多くのサークルに入れば入るほど認知症の発症率が下がることを示して、「こうなんですよ」というアピールの仕方が大切ではないかと思う。アピールの仕方をもう少し考えてやってみたらどうかとを感じる。

さらに、体を動かしていく機会を作った方が良い。認知症で介護度が上がって要介護になるというのは非常に多いので、認知機能低下を防ぐことから取り組んでいくことも必要ではないかと思っている。

議題 4) 第 1 1 期鳥栖市高齢者福祉計画の基本理念と基本目標及び成果指標について

●事務局

(資料説明)

○委員

(高齢者福祉計画策定のためのアンケート調査について) 65 歳以上の方が対象ということ

か。

●事務局

基本的に高齢者福祉計画ですので 65 歳以上を対象としたアンケートである。ただし、将来的なことを予測するためには、若い方たちの意識調査というのにも必要と考えている。

○委員

元気な生産年齢の方が以前は 65 歳だったところが、少しずつ伸びていっている。若いときからちゃんと意識を持っておいた方がいいと思う。ただ、このようなアンケートの中にそういったものを加味した指標が入ってこない、なかなか本当の鳥栖地域の実情が、ぼやけてくるのかなと感じる。アンケートを実施する側にとってはどうか。

●事務局

今回、介護保険事業計画と一体的に作成するため、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査と在宅介護調査の 2 つ調査を実施した。アンケート調査でも 75 歳まで仕事をされているという結果であった。そのことも踏まえ、若い人たちの考えや、生産年齢が伸びた中での考え方、種別、対象者の年齢を考えたアンケート調査が必要になってくるのではないかとご意見からも感じている。今回なかなか間に合わない部分があったかと思うが、このような委員会や他の部署等からのご意見も参考にさせていただきながら、計画を作成していきたい。

議題 5) 第 11 期鳥栖市高齢者福祉計画における個別施策について

●事務局

(資料説明)

○委員

個別の事業について各実績、今後の見込みは、庁内会議の中で伺われているのか。

●事務局

各課の方に現在、照会をかけている。(資料に掲載している見込・実績について) 現在は、前の第 10 期の計画のままになっている。本課で実施してる施策については、実績と目標値を掲載している。

○委員

資料 5 で、各課の評価一覧があるが、A B C と記載の評価は、担当課の評価か。

●事務局

担当課の評価になっている。

○委員

資料 5 の 2 ページ。2 の敬老事業、その中の②敬老会補助金、その課題として「高齢者人口の増加に伴う対象者数増加による支給費用の増加が見込まれるとともに、会の主催者側の負担も増大している。敬老の意の表し方とともに地域の交流が課題となっている。」とある。この記載について、どういう捉え方をすればいいのか。人数が増えているから、金がかかるから少し考えなければいけないと言われているのか、人数が増えているから逆に施策を続けていけないといけないのか、非常にこの幅のところがあいまいである。増えれば当然予算も確保しないといけないという立場で書かれているのか、見直しが必要ですよというような意図があって書かれているのか、ご意見を聞きたい。また、資料 5 について、各課に照会をしているということで、庁内会議の中で十分見直されると思うが、今回出されたこのシートについては、庁内会議の中では一応伺われているのか。

●事務局

庁内会議では、各課からの課題として記載され、次の目標や内容の見直しをするということで、特にご意見はなかった。敬老会の補助金については、どんどん高齢者の人数が増えている。そこで人数が増えていくと、高齢者の多い町では会場に集まりきれないため、開催が出来ないというようなご意見をいただいている。また、お世話の方が同じように高齢者になって、お世話をする・準備をするのが大変だということで、役につくことを遠慮される方がいるといった課題も挙がってきている。敬老会補助金は、敬老事業を続ける上で、見直しをしていかなければいけないと考えている。

○委員

例えば資料1の56ページの施策の方向性の中で1万900人、1万千人、これは推計で出ている。その人数の見込みからどのような計画や政策が必要なのかということを知りたい。こういう課題があるから、それについてどういう解決の方法があるのかというものを示していただかないと、見る人によっては補助金を減らそうという、とらえ方をされることもある。せっかく課題として挙がってきている。3年後でも相当高齢化問題というのは大きくなっていくと思うので、今後の方向性の中にはどういう方向で進んでいくかということを期待したい。

●事務局

庁内会議の中でご意見をいただいきたいと思う。

○委員

はい。資料の表の実績は令和3年4年5年、目標は6年7年8年と記載がある一方で、6年7年8年を実績として9年10年11年を見込みと書いてある箇所もある。これは、まだ集計ができていないということか。

●事務局

現在、高齢障害福祉課以外の課の部分については、資料5での評価を踏まえて方向性や現状の把握を整理していただき、実績と見込、施策の方向性を記載するよう依頼をかけているところとなっている。

○議題に対する質疑終了

●事務局

閉会